

## 53. ツイードの縫製について

昭和女子大 石毛フミ子

1. 最近、婦人服地に非常に目のあらい、ざっくりした感じの織物が流行してきた。これらの布地を縫製する場合、従来の織物と同じ取扱いでよいか疑問点が多々ある。そこで市販品の純毛ツイード5種をえらび、縫い目の適当な大きさ、のびをふせぐ方法、強度を増す方法、袖山のいせこみ分量等について実験を行ない検討した。

### 2. (イ) 縫い目の適当な大きさ

実験材料、市販品、手織、純毛ツイード5種、針目の大きさ、1cmに4針、5針、6針、経、緯方向に縫い、ショッパー引張り試験機にかけ、強度、糸のきれ方、布のいたみ具合をみた。

### (ロ) のびをふせぐ方法、強度を増す方法

実験材料、表布は(イ)に同じ、裏打布はベンベルグデシン、ゴース。表布に各々の裏打布をあてインストロンで引張り強度、のびをしらべ原布(裏打ちをしないもの)で比較した。

### (ハ) 袖山のいせこみ分量

先に報告した数理的に算出したいせこみ分量と好適いせこみ分量と比較検討した。

### 3. (イ) 縫い目の適当な大きさは1cmに4針程度

(ロ) 強度、裏打ちした場合>しない場合、ベンベルグデシン裏打ち>ゴース裏打ち、

伸度、裏打ちしない場合>裏打ちした場合、ベンベルグデシン裏打ち>ゴース裏打ち

(ハ) 袖山のいせこみ分量、4.5~5cm縫い目を割る場合 3.5cm内外。